

## Si-R G100 V02.03 変更内容一覧

### □機能追加・改善

No.	項目	追加内容
1	データ通信モジュールの追加	動作検証済みのデータ通信モジュール一覧に機種を追加しました。 ※動作検証済みのデータ通信モジュール(富士通ホームページ) <a href="http://fenics.fujitsu.com/products/sir/sirg100/#supportcard">http://fenics.fujitsu.com/products/sir/sirg100/#supportcard</a> <a href="http://fenics.fujitsu.com/products/sir/sirg200/#supportcard">http://fenics.fujitsu.com/products/sir/sirg200/#supportcard</a>
2	WEB画面	以下のWEB画面をサポートします。 ・表示:統計情報や装置情報の表示 ・保守:構成定義の待避・復元、ソフトウェア更新 ・操作:リモートパワーオン操作
3	データ通信モジュールファイル対応	通信モジュール毎の無線WAN監視のための情報を定義ファイルとして独立させ、モジュールサポート追加時に本ファイルの更新にて無線WAN監視対応ができるようにします。
4	Si-R実装機能の展開	以下のSi-R実装機能をSi-RGシリーズへ展開します。 ・リモートパワーオン ・UPnP(VoIP NAT)トラバーサル機能を含む)
5	Etherポートの帯域制御(WFQ)機能	Si-Rのlanインタフェースに対するlan [ip]ip6] priority設定に相当する機能をetherポートに対して実装します。
6	VLANプライオリティマッピング機能	VLANプライオリティマッピング機能として以下の一部機能をサポートします。 ・TOS/TC→COS値へ反映
7	ソフトウェアのftp-get機能	ftpサーバ機能において、ソフトウェアのget機能を追加しました。

### □修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V02.00～V02.02	基本NAT使用時、ICMP通信が遮断される。
2	V02.00～V02.02	特定ポート番号のパッシブモードのftpデータセッションがIPフィルタで遮断され、ftp通信が失敗することがある。
3	V02.00～V02.02	PPPoE接続時、show trace pppoeコマンドを実行すると装置が再起動する場合がある。
4	V02.00～V02.02	remote ip address local設定とloopback設定、または、template着信したaaa user ip address local設定とloopback設定、または、remote address local設定と他のremote address remote設定のIPアドレスが重複している場合、装置が再起動することがある。
5	V02.00～V02.02	スケジュール機能と時刻同期クライアント機能を併用すると、メモリ使用量が増加し続ける。
6	V02.00～V02.02	通信モジュールが正常に使用できるにも関わらず、初期化に失敗した旨の以下のシスログが表示される場合がある。 「usbh_pcdcacm: [USBx] fail to initialize card.」
7	V02.00～V02.02	SNMPマネージャからのifIndexを引数に持つMIBグループMIB取得要求処理時に装置が再起動することがある。
8	V02.00～V02.02	透過モード(ethergroup 2 vlan mode disable)設定時にlan定義とは関連のない定義を動的定義反映した場合に、タグなしVLAN設定しているlanインタフェースがダウンし再度アップする。
9	V02.00～V02.02	データ通信モジュールにて発信処理中に誤って特定のシスログが多数出力されることがある。また、その間は回線接続できず、通信できない状態となる。出力されるシスログは以下。 「[USB] CALL to by forwarding packet : ~」
10	V02.00～V02.02	VRRP仮想アドレスを自側アドレスとしたEoIPによるIPトンネルでフラグメント化されたパケットが装置内部で破棄され通信できなくなる場合がある。